
何処にでもいる怪僧が行く！(まじこい)

怪人紳士サノブ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

何処にでもいる怪僧が行く！（まじこい）

【Nコード】

N5410Z

【作者名】

怪人紳士サノブ

【あらすじ】

武士娘達との真剣に恋できねー！と思いつつも書いてみた作品
怪僧天海は彼女らから何を感じとるのか？ 戦国BASARA3宴
をプレイして思い付いた作品 まだネタの段階なので短編にしまし
た

(前書き)

スタイリッシュなねぶた

川神大戦ッ！！

それは川神学園最大最高の勝負方法である！

学生同士が互いに大将を倒す、その様はまさに現代に蘇った戦そのもの！

そして今、山中において学園のあるクラスが今か今かと開戦を待ちわびていた

今回の川神大戦はひと味違うものとなっている

その最大の要因は大将が立つ陣：それは巨大な龍と虎を模した山車だということ（九鬼財閥提供）

今に飛び出し牙を剥き出しそうな黄金の虎には2・Sが大将、九鬼英雄が立つ

2・Sは川神学園の中でも特に成績優秀な者、名家の子息が在籍する特進クラスだ

選民思想の強いS組の中でそのカリスマを發揮できる九鬼英雄が大将に立つのは当然とも言える

対する青い龍がとぐるを巻いて座す山車には2・F、直江大和が大將を務める

風間ファミリーの頭脳であり軍師である大和は犬猿の中であるS組との雌雄を決するべくF組をまとめ上げた

キャップこと風間翔一が大將をやりたがっていたが、大和の並々ならぬ決意を見てその場を譲ったのだ

大和には大和のある思惑があるのだが今は置いておこう

それに、いい加減にS組の鼻っ柱を折ってやりたいと思っていたのもある

F組を舐めきるS組はそこまで士気は高くない

というのも彼らにはS組の頭脳、葵冬馬の策略、助っ人のマルギツテ・エーベルバツハの猟犬部隊、忍足あずみ率いる九鬼家メイド隊

そして最大の手札、武神と怪僧の存在である

この戦いは勝ったも当然であると英雄や冬馬などの人物以外は油断しきっているのだ

F組の士気は最初はS組より低かった

それは武神、川神百代がS組についたことが一番の原因だ

風間ファミリーというグループの一員であるはずの彼女が、卒業する前に風間ファミリーと戦ってみたいという理由でS組に着いてしまった為、F組の士気はダダ落ちしている

しかし、直江大和は言う

「皆、あの川神百代に勝ってみたくないか？俺には勝つための秘策がある」

そう彼は豪語してみせた

初めはF組を纏めるためにハツタリで言ってみた彼だが、言ってみせた以上本気で勝つための策を練り上げた

そして外部からの助っ人として、彼の人脈が生かされる

「姉さん、俺達の力を見せてやる…！」

武者震いを抑える

すべきことはやって来た

下準備は万全

後は本番で己の出来うる策ちからを持って挑むのみ！

「行こう皆！S組を倒すぞ！」

その戦はまさに宴へ

川神大戦開幕である！

虎の山車の一番高い場所には九鬼英雄が仁王立ちしている

山車の至るところにある台座には忍足あずみやマルギッテ・エーベルバツハ、不死川心、榊原小雪と井上準が立っている

「さあ行くぞ皆のもの！F組を蹂躞するぞ！！あずみよ！行くのだ
！」

「マルギッテさんも向かってください」

「分かりました英雄様あつ！！」

「任せなさい」

台座から飛び降りれば生徒の入り乱れる戦場に乱入し、暴れだす

大和はそれを指をくわえて見てる訳じゃない

龍の山車に立つ台座から二人の人物が飛び出していく

「ハアアアアッ!!」

「!?!? 黛由紀江か!」

「やあああつ!!」

「!?!? お嬢様ですか!」

風間ファミリーの一人

黛由紀江

クリスティアーネ・フリードリヒ

二人の武士娘が戦場に降り立ち、その腕を振るう

四天王に目される由紀江の力は凄まじく、メイド隊を蹴散らしてあ
ずみを後退させる

本気を出していないとはいえ、現状出せる力すべてを出しているマルギツテを抑えるどころか退かせ始めているクリスの成長に目を見開いた

「皆も頑張ってる…私ももう行くね大和！」

「ああ、そろそろだな…よし行ってこいワン子！」

さらに川神一子の参戦によりF組の士気は最高潮になり始める

それはS組の生徒を確実に怯ませた

純粋な戦力差で劣るはずのF組は今ここに戦況を拮抗させる

「よし…次は、と…」

「や、大和！」

「っ…！」

だが、大和の思い通りに事が運ぶことはない

冬馬は戦況をひっくり返す程の爆弾を解き放つ

二つの山車に近付く新たな山車が現れたのだ

見た目は何処かの寺のような印象を与えるその上下の台座にそれぞれ的人物が立っている

下段には白い改造僧服を身に纏った青年

上段には上着を肩にかけ、両腕を組み仁王立ちする女性

両者ともに尋常ならざる気が立ち上ぼり、視認できる程に体を淡い光を出しながら包んでいた

「S組の覇を唱えるべく、天に広がりし海よりこの私がこれより馳せ参じます…ンフッフッフ」

「ほう？大和め、随分と好き勝手やってみせたみたいだな？随分と楽しそうな真似をしてくれたものだ…！」

「怪僧、天海…！」

「武神、川神百代…！」

誰かが二人を見て呟く

さほど大きい声を出して言ったわけではないのに、それは戦場に響く

そして二人は台座から飛び降りる

「天海！一足先に楽しませてもらうぞ！」

「おやおや、先輩が楽しそうですね…ククク…」

二人が乱入したことでF組はこれまで以上に緊迫する

だが大和はその表情を歪ませることは無かった

次々に生徒を蹂躪し始めた百代目掛けて上空より一人の女性が高笑いと共に降ってきたからだ

「フハハハハッ！九鬼揚羽！降臨である！百代！お前の相手はこの私だ！」

「なあっ！？姉上！？？」

「揚羽さんか！いいでしょう！存分にやりあいましょうっ！っ！」

「はあああっ！」

「私も…います！」

「乙女さんに、まゆまゆか！ははっ！いいなホントに！楽しくなってきたなあっ！」

武道四天王が、誰も横槍をいれることのできない戦いを繰り広げる
殴る、蹴る、打つ、捌く、防ぐ

その光景は武の頂

「クククク…これはこれは…一子さんにクリスさん、京さんじゃないですか…私に、なにか？」

「あなたの相手は私たちよ！」

「おおっ！これが僧兵というもの！」

「クリス、彼はそれとは違うと思うけど？」

「立ち塞がる…ということとは…覚悟はよろしいですね？」

天海から発せられる気により両手に現れる二本の錫杖鎌

そして、さらに気により頭蓋骨が三つ、天海を守るように浮かんだ

「さあ、いらっしやい！私という壁を！越えてみせなさい！」

鎌を振るい、放たれる棘

三人は避けて己の得物を振るい始めた

一子の薙ぎ払いを鎌で受け止め、クリスの突きを捌き、京の矢を払い落として行く

二つの場所で起きる苛烈な戦い

それを見ていた生徒達は夢から覚めるように、しかし、熱は冷めずに戦いを再開する

そう、宴はまだ始まったばかり

生徒の声が、剣戟の音が、宴を盛り上げていく

大戦の結末や如何に…

(後書き)

今回のこれは他の怪僧短編シリーズより一番出来が悪いと思ってます
むしろスタイリッシュなぶたが出来りゃ天海じゃなくていい気がし
てしまうんですね

他の怪僧短編と違って話作りづらい…というよりはKOFとか鉄
拳とかそっちの方がよかったかも…

ひとまずこれにて怪僧短編シリーズは終了です

他の怪僧短編シリーズの評価と比べて、一番安定したものを連載し
ようと思います

まだまだ予定なのでやるかはわかりませんが…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5410z/>

何処にでもいる怪僧が行く！（まじこい）

2011年12月18日05時45分発行